

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/4)

| | | | | | |
|---|---|-------------|------|------|----------|
| 学部・学科 | 臨床心理学部・臨床心理学科 | 職名 | 教授 | 氏名 | ミツバシ マコト |
| 学歴 | 平成 3年 3月 東京女子大学文理学部心理学科 卒業 平成 5年 3月 お茶の水女子大学大学院家政学研究科 (修士課程) 児童学専攻 修了 平成14年 3月 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 (博士課程) 人間発達学専攻 単位取得満期退学 | | | | |
| 学位 | 平成 5年 3月 家政学修士(お茶の水女子大学 2428号) | | | | |
| 専門分野 | 臨床心理学 | | | | |
| 専門資格 | 臨床心理士 (6385号) 保育士 (京都府 - 022574) | | | | |
| 所属学会 | 平成 3年 6月 日本心理臨床学会 平成 6年 1月 日本パーソナリティ心理学会 平成13年 5月 日本教育心理学会 平成15年 4月 日本心理学会 平成16年 4月 日本発達心理学会 | | | | |
| 受賞 | | | | | |
| 担当授業科目 | 学 部 カウンセリング心理学、初年次演習、臨床心理学演習、臨床心理学総合演習 ・ 、臨床心理学研究法演習 ・ 、臨床心理学実践演習 (グループアプローチ3) (春学期・秋学期)、臨床コミュニケーション論(春学期・秋学期)、卒業論文 ----- 大学院 臨床心理面接特論A、心理療法特演 -B・ -B、臨床心理学特演 -A・ -B、臨床心理学特演 -A・ -B、心理臨床査定特演 -A・ -B・ -A・ -B、臨床心理学外実習 -A・ -B | | | | |
| 論文指導 | 論文指導担当[主査] (卒論： 9名、修士論文： 2名) 論文審査担当[副査] (卒論： 10名、修士論文： 6名) | | | | |
| FD活動・教育実績 | 科目名 | 科目カテゴリー | 実施学期 | 履修者数 | |
| | 臨床心理学研究法演習 | 講義・演習・実習・実験 | 春・秋 | 18名 | |
| | 授業の概要： おもに子育て現場や母子関係における臨床心理学的なテーマについて知見を深める。 | | | | |
| | 教育活動の振り返り 教育活動の成果： 2014年度は児童自立支援施設を視察したり、学内のニコニコルームで親子とふれあったりする時間を授業に取り入れ、各回とも学生たちに主体的に動けるように進めた。そのため、満足度も高かったように思う。 今後の課題： 各年度の学生たちのニーズに合わせた取り組みを考えていくこと。 | | | | |
| | ・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 特になし。 | | | | |
| ・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 特になし。 | | | | | |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/4)

| | |
|--|--|
| <p>H26 年度 研究課題</p> | <p>1. 子育て支援「ママさんサポーター」活動の研究 2. 絵本における臨床心理学 3. 理想のカウンセリングルーム</p> |
| <p>研究活動の概要 (平成二十六年(2014)年度の)</p> | <p>1. 8組の家庭と学生とをマッチングし、前中後で質問紙調査・インタビュー調査などをおこなった。 2. 2回生ゼミを中心とした授業の中で絵本についてディスカッションするとともに、学外での絵本展や図書館などにも赴いた。 3. 授業の中で学生たちに理想のカウンセリングルームを描いてもらう調査はおこなったが、分析はこれからである。</p> |
| <p>主な研究成果等 (平成二十六年(2014)年度の)</p> | <p>(著書) 1. 「第 部第6章 ニュータウンの子育て支援 ママさんサポーター活動の試み」、共著(当該部分担当) 平成27年3月、昭和堂、杉本星子・小林大祐・西川祐子編、『京都発！ニュータウンの「夢」建てなおします 向島からの挑戦 』(pp.105-120)</p> <p>(論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) (調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 心理臨床センター副所長、自己点検・評価 教育研究専門委員会委員、教務委員会委員、国際交流委員会委員</p> |
| <p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p> | <p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) ・ 京都市スクールカウンセラー「平19.4より」 ・ 京都市教職員相談室メンタルリフレッシュ相談員「平23.4より」 ・ 京都府学校危機支援チーム(CCST)直接ケア隊員「平21.10より」</p> <p>平成26年 8月・11月 平成26年度夏期・秋期教員免許更新講習講師、「幼稚園における発達障害児とその親への支援」、於：京都文教大学 平成26年 8月 平成26年度夏期教員免許更新講習講師、「絵本、再発見」、於：京都文教大学</p> <p>(NPO 法人等の団体への参画) ・ 「助け合いの子育てネット」(子育て支援「ママさんサポーター」活動)代表「平15.4より」</p> <p>(その他) 平成26年 6月 京都文教大学オープンキャンパス 模擬授業講師、「おやになるってどんなこと？ 地域とのふれあいから学ぼう」、於：本学</p> |
| <p>主な研究成果等 (平成二十一～二十五(2009～2013)年度の)</p> | <p>(著書) 1. 「7. 地域・文化 地域子育て支援」、共著、平成23年8月、丸善出版、日本心理臨床学会編、心理臨床学事典 (pp.520-521) 2. 「第5章 ロジャーズの理論とクライアント中心療法」、共著、平成24年10月、北樹出版、塩崎尚美編著、実践に役立つ臨床心理学 [改訂版] (pp.77-94)</p> <p>(論文) 1. 「臨床心理学専攻の学生が保育士資格を取得することについての一考察」、単著、平成23年3月、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第3集 (pp.91-104) 2. 「ニュータウンにおける子育て支援を考える 「ママさんサポーター」活動より」、単著、平成25年3月、京都文教大学人間学研究所 人間学研究vol.13 (pp.23-30)</p> |

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/4)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等

(学会報告、学会活動)

1. パネル発表「子育て支援活動「ママさんサポーター」の効果(サポーター編) 母親の新規活動者と継続活動者による違い」、共同、平成22年3月、共同研究者：佐藤歩・溝渕千晴・小林昌幸・梶谷紘花、日本発達心理学会第21回大会、神戸国際会議場
2. パネル発表「子育て支援活動「ママさんサポーター」の効果(母親編) 新規活動者と継続活動者による違い」、共同、平成22年3月、共同研究者：佐藤歩・溝渕千晴・小林昌幸・梶谷紘花、日本発達心理学会第21回大会、神戸国際会議場
3. パネル発表「大学生が考える理想のカウンセリングルーム」、単独、平成26年3月、日本発達心理学会第25回大会、京都大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

学術講演等：

1. 話題提供者「大学と家庭をつなぐ～ママさんサポーター活動」、平成24年2月、神戸学院大学心理臨床センター主催「子どもの成長と大人の役割 学校・地域・家庭における子育て支援」、神戸学院大学
2. 話題提供者「ママさんサポーター活動の紹介」、平成26年2月、京都文教大学臨床心理学研究科主催「日韓学術交流会」、韓国・ソウル

その他：

1. 「金井論文へのコメント」、単著、平成22年2月、天理大学カウンセリングルーム紀要 第6号 (pp.129-132)
2. 「今すぐできる！育児と仕事の両立バイブル」、平成24年3月、ベネッセ、雑誌「働くママの応援マガジン「bizmom」春号 (p.9,25)
3. 報告者「大学と地域をつなぐ～わくわくフェスティバル開催の試み～」、共同、平成24年3月、京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト2011 年度第3 回研究会「リバイビング・ニュータウン：住民主体のコミュニティ再活性化にむけた研究」、京都文教大学
4. 講演録「子どもの成長と親の役割 (2012年2月29日フォーラム記録) 学校・地域・家庭における子育て支援」、共著、平成25年3月、共著者：横溝妙子・馬見塚珠生・前田志嘉代・日高正宏、神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター紀要第6号 (pp.57-78)

(調査活動)

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

(学内活動)

- 平成20年 4月 研究員派遣調整委員会委員「平22.3まで」
臨床心理学部研究報告編集委員会委員「平22.3まで」
- 平成21年 4月 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平25.3まで」
学生委員会委員「平25.3まで」
学生相談室委員会委員「平25.3まで」
- 平成22年 4月 人間学研究所兼任研究員(「リバイビング・ニュータウン：住民主体のコミュニティ再活性化にむけた研究」)「平25.3まで」
- 平成23年 4月 学科予算委員会委員「平25.3まで」
- 平成25年 4月 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「現在に至る」
教務委員会委員「現在に至る」
国際交流委員会委員「現在に至る」

(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託)

- 平成19年 4月 京都市スクールカウンセラー「現在に至る」
- 平成21年10月 京都府学校危機支援チーム (CCST)直接ケア隊員「現在に至る」
- 平成22年 8月 平成23年度京都府公立学校教員採用選考試験第2次面接試験面接委員
- 平成23年 4月 京都市教職員相談室メンタルリフレッシュ相談員「現在に至る」

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会活動

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/4)

平成二十一～二十五(2009～2013)年度の社会における活動

(NPO法人等の団体への参画)

平成15年 4月 「助け合いの子育てネット」(子育て支援“ママさんサポーター”活動)代表
「現在に至る」

(小中高との連携授業の講師)

平成23年 6月 京都文教高等学校第1回キャリアプログラム「絵本で臨床心理学をのぞいてみたら～あなたはもう殻が割れたかな?」於：同校

平成24年11月 京都文教高等学校ALP「赤ちゃんポストについて考える」於：同校

平成25年10月 京都文教高等学校第2回キャリアプログラム「なぐりがきから何が見える?」於：同校

(自治体や企業における研修等の講師)

平成21年 6月 京都府臨床心理士会SC部会研修会シンポジスト

平成21年 9月 京都府臨床心理士会SC部会研修会講師

平成22年 2月 1. 生駒市平成21年度「子育て支援」ボランティア養成講座講師

2. 城陽市児童保護対策地域ネットワーク会議研修会講師

平成22年10月 宇治市教育委員会小中学校研修会講師

平成23年 7月 宇治市教育委員会 小中学校研修会講師

平成24年 2月 京都市教職員メンタルヘルス研修会講師

平成25年 1月 京都市立勸修中学校保護者向け講演会講師

平成25年 2月 京都市教職員メンタルヘルス研修会講師

平成26年 1月 宇治市教育委員会 小中学校研修会講師